100 周年記念大村文子基金

2025 年度　第 26 回「女子美パリ賞」募集要項

■ 大村文子基金とは

女子美術大学 100 周年記念事業のひとつとして、ノーベル生理学・医学賞を受賞した本学名誉理事長大村　智 博士夫妻による多大なる寄付をもとに設立しました。この基金は、在学生・卒業生の美術活動、制作・研究活動の奨励を主な目的としています。本学ではこの基金を、新しい美の創造者、探求者の育成を支援する女子美の文化事業として、また日本文化、芸術の創造と発展の一翼を担う、文化貢献の一つとして運営しています。

■ 女子美パリ賞とは

本学卒業生・大学院生を本学が契約しているパリ国際芸術都市のアトリエに研究員として派遣し、未来への可能性を期待できる国際的なアーティスト・デザイナー・研究者の育成を図ることを目的とした賞で、毎年 1 名をパリへ 1 年間派遣します。また、受賞者には副賞として 100 万円が授与されます。世界各国のあらゆるジャンルの芸術家たちの拠点となっているパリ。その豊かな芸術環境の中で、創作活動に専念し、世界中から集まる文化の息吹に触れ、ひらかれた感性で新しい芸術を追求することが期待されます。

「国際芸術都市」

パリ市内の 2 拠点にアトリエ兼住居約 310 部屋、年間 1,100 人のアーティストを受け入れる世界有数の規模を誇るレジデンス事業。異文化との交流を通してパリ市の芸術活動の活性化、多様な文化間の対話に参加されることを目指している。

学校法人 女子美術大学

□ 応募資格 **①本学卒業生・修了生(大学院、芸術学部、短期大学部(専攻科含む))または大学院在学生(＊1)で、研究員として１年間パリの国際芸術都市に滞在出来る者。**

＊1：大学院在学生は、次頁「大学院在学生が応募する場合の注意事項」を確認してください。

②身体的・精神的に健康な状態であること。

□ 対象分野 **研究可能な対象分野は美術・デザイン・工芸、その他女子美術大学・短期大学部で学ぶ各専攻領域の分野です。**
ただし、工房等での作業が伴う場合は、国際芸術都市に施設・設備の用意はありませんのでご自身で国際芸術都市施設外にアトリエを確保できる場合については応募が可能です。

※共有スタジオ等、制作・研究に必要な最新の情報収集、申請手続き・準備等は、本人が行うこととします。
※卒業生・修了生は、在学中の専門分野と同一分野である必要はありません。

□ 賞 内 容 **①国際芸術都市に１年間滞在し、制作・研究を行う。**

②副賞１００万円

※国際芸術都市に滞在できなくなった場合は、受賞を取り消すことがあります。
（副賞の返還を含む）

□ 受賞者へのサポート内容

１.提供するアトリエ兼住居は、作業スペース、台所、風呂、洗面室、家具付き、コインランドリーあり。
２.光熱費、水道料金、管理費、テレビ使用料その他の主な住居費は本学で負担いたします。なお、渡航費・ビザ取得手数料・海外旅行傷害保険、食費・電話代など任意の費用は、ご本人の負担費用となります。
３.派遣後、研究成果を発表すること。なお、発表の方法は問わない。
４.広報・宣伝の一部サポート。

□ 受賞者数 **１ 名** （該当者のない場合があります）

※配偶者の同伴を認めることがありますが、配偶者の住居費は自己負担となります。

□ 派遣期間 **2025 年 4 月～2026 年 3 月末日（1 年間）**

□ 特記事項 海外渡航制限等の状況によって、派遣期間の延期または期間の変更等が生じる場合があります。

□ 応募受付 **2024 年 6 月 12 日（水）～ 6 月 27 日（木）必着**

□ 選考方法・日程

第１次選考(書類選考)

※書類をもとに審査員による審査を行います。
※選考結果は 7 月下旬に発送予定。第 1 次選考合格者のみ第 2 次選考に進みます。

第２次選考(面接審査)： 2024 年 9 月 6 日（金）

※国際芸術都市からの意見を反映し、審査を行います。
※第 1 次選考合格者を面接します。
※フランス語のリスニング試験を実施する場合があります。
※選考結果は **9 月 12 日（木）に電子メール／郵送予定**

□ 授 賞 式 **2024 年 11 月～12 月** ※女子美術大学 杉並校舎

□ 応募書類　※応募書類は原則現物とデータ両方をご提出ください。
⑧に限りデータのみご提出ください。現物の提出は不要です。

①履歴書(日本語)
②これまでの制作・研究活動一覧(日本語)
③滞在目的：レポート８００字以内(日本語)
④現地での制作・研究活動日程(日本語)
⑤ポートフォリオ（含 CD、DVD）(日本語)
　または　論文集（論文要旨 1,000 字程度添付）(日本語)
⑥外国語能力を示す証明書
⑦CURRICULUM VITAE(フランス語または英語)
⑧PORTFOLIO(フランス語または英語)※データのみご提出ください。現物の提出は不要。
⑨PRESENTATION of the RESIDENCY PROJECT(フランス語または英語)

※「応募書類に関する注意事項」をよく読み、準備してください。

◆大学院在学生が応募する場合の注意事項

□ 応募資格　上記の応募資格①②に加え、以下の条件を満たすこと。
③保証人の同意が得られること。
④研究室の指導教員の許可が得られること。
⑤休学中の費用(在籍料として授業料相当額の 4 分の 1)を納入すること。

□ 応募書類　上記の応募書類①～⑨に加え、以下の書類を提出すること。
⑩海外留学許可願兼保証人の同意書(日本語)
⑪所属研究領域が発行する推薦書(日本語)
⑫連絡先シート(日本語)

□ 学位申請　派遣年度が修了予定期の場合、派遣時期は学位申請時期と重複するため、学位申請ができないことから、原則、１年間の修了延期となります。

□ 履修　教職課程、学芸員養成課程を履修している方は、関連科目、教育実習、介護等体験、博物館実習等の履修方法について、教育支援センターへ確認してください。

□ その他

１．研究期間中は研究に専念する義務がありますので、下記の理由以外による一時帰国は認められません。
一時帰国する場合は、事前に本学に相談してください。無断で帰国された場合は女子美パリ賞受賞を取り消すことがあります。(副賞の返還を含む)
①家族・親族の結婚式、葬儀等の慶弔事や受賞者本人の健康上の理由、家族の急病等緊急時。
②受賞者本人の研究内容に深く関連し、本人のキャリアアップにつながるような展覧会等に参加する場合であって、本学が承認した場合。
（原則１回。ただし、自らが企画する個展などを理由とする一時帰国は認められません。）

２．渡航・制作・研究に必要な情報収集、ビザ等の申請手続き・準備等は、本人が行ってください。

３．渡仏にあたり、海外留学保険に自己負担で加入してください。

４．帰国後、２ヶ月以内に報告書を本学に提出してください。

５．帰国２年後、作品を女子美アートミュージアムに寄贈すること。
ただし、収蔵スペース等の関係があり、以下の寄贈条件となりますので予め了解願います。
①有機物あるいは壊れやすかったり、経年劣化で長期保管に耐えられそうにない作品は不可。
②平面作品は 100 号以下。それ以上は組み立て、折りたたみ対応。
③立体作品は１立方ｍ以内。重量は 100ｋｇ未満。
④インスタレーション作品は美術館側で展示作業できる作品。
⑤寄贈に際しての搬入補助費用の上限は 60,000 円まで。

□ 応募書類に関する注意事項

- 応募書類①～⑨は原則現物とデータ両方をご提出ください。⑧に限りデータのみご提出ください。現物の提出は不要。データはＣＤに入れて提出してください。
- 応募書類①～④、⑨は本学所定用紙を使用してください。本学ウェブサイトからもダウンロードできます。やむを得ず各自で作成する場合は、同じフォーマットで作成してください。
- 日本語の応募書類、作品写真または論文要旨に加え、フランス語または英語による履歴書、ポートフォリオ、レジデンスプロジェクトのプレゼンテーションを提出していただきます。
- 提出方法は原則として郵送または持参とします。なお、郵送の場合は到着確認のため、発送日と氏名を明記の上、応募書類を郵送した旨をメールでご連絡ください。書類が到着しだい折り返し確認メールを配信いたします。
- 作品の現物、推薦状などの提出は受け付けません。ただし、大学院在学生は所属研究領域が発行する推薦書(**日本語**)の提出が必要です。
- 「女子美ミラノ賞」「女子美ベルリン賞」との併願はできません。
- 「女子美 制作･研究奨励賞」との併願は可能ですが、提出書類はそれぞれに必要です。ただし、「女子美パリ賞」の受賞が決まった場合は、「女子美 制作・研究奨励賞」は対象外となります。
- 応募書類（ポートフォリオまたは論文集を含む）は、選考後返却します。ただし、受賞者については返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。また、海外在住の方へ書類を返却する場合は国内連絡先住所へ返送いたしますのであらかじめご了承ください。
- **履歴書(日本語)**

生年月日	西暦で記入してください
学　　歴	高等学校卒業以降、最終学歴まで西暦で記入してください。
職　　歴	西暦で記入してください。長期アルバイトも含みますが、担当した職務を記入してください。
希望する入居期間	**2025 年 4 月～2026 年 3 月で**支障のある場合のみ記入してください。
語 学 力	該当する箇所を〇で囲んでください。
語学関係の資格等	語学検定のレベル等記載できる方は記入してください。
併　　願	「女子美 制作・研究奨励賞」との併願の有無を記入してください。

- **これまでの制作・研究活動一覧(日本語)**

  これまでの作品制作や研究活動およびそれらの展示・発表などについて記入してください。
- **滞在目的(日本語)**

  パリの滞在目的について、要約 200 字以内、本文 800 字以内で記入してください。
- **現地での制作・研究活動日程(日本語)**

  パリ滞在中の制作･研究活動について、どのように計画しているかがわかるように記入してください。
- **ポートフォリオまたは論文集(日本語)**

  ・ポートフォリオはＡ４ファイルまたはＡ３ファイル１冊とします。なお、Ａ３ファイル提出でパリ賞受賞決定の場合は、本学相模原図書館での保管の関係上、Ａ４ファイルを改めてご提出いただきます。

  ・ファイルの提出に加えて動画を添付する場合、作品は 3 分以内とし、コンテンツを用紙一枚（Ａ4 またはＡ3 ファイル判）にプレゼンテーションしてください。また、OS、対応ソフト、バージョンについても記載してください。

  ・論文集の場合、論文要旨 1,000 字程度を添付してください。

- **外国語能力を示す証明書**

  外国語能力を証明する書類がある方は証明書のコピーを提出してください。

  ※(例)　TOEFL スコア(2 年以内に受験したもの)、フランス語学力テスト(TCF-DAP)、フランス語能力認定試験(TEF)や資格(DELF/DALF)の証明書、実用フランス語技能検定合格証明書等の合格が

わかるもの

● **CURRICULUM VITAE(フランス語または英語)**

生年月日　西暦で記入してください

学　　歴　高等学校卒業以降、最終学歴まで西暦で記入してください。

職　　歴　西暦で記入してください。長期アルバイトも含みますが、担当した職務を記入してください。

これまでの制作・研究活動一覧

これまでの代表的な個展、グループ展、受賞、レジデンス等を記入してください。

● **PORTFOLIO(フランス語または英語)**

PORTFOLIO(フランス語または英語)はＡ４またはＡ３とし、PDF にて作成してください。また、OS、対応ソフト、バージョンについても記載してください。

● **PRESENTATION of the RESIDENCY PROJECT(フランス語または英語)**

国際芸術都市で取り組むプロジェクトのプレゼンテーションを 15 行程度で記入してください。

□ 個人情報の取り扱いについて

・応募者の個人情報については、選考とそれに必要な諸連絡の送付に使用いたします。

・受賞者は、本学広報媒体(印刷物、電子媒体含む)・授賞式配付資料及び女子美術大学同窓会広報媒体(印刷物、電子媒体含む)に氏名・略歴・受賞作品画像・顔写真等を掲載いたします。受賞者のポートフォリオ、論文要旨は、大村文子基金授賞式、および本学相模原図書館で本学関係者・学生等が閲覧できるようにいたします。

※　応募者は上記の条件に同意したものとみなします。

□ 送付先／問合せ先

〒166-8538　東京都杉並区和田１－４９－８

女子美術大学・女子美術大学短期大学部　学生支援センター「女子美パリ賞」係

TEL：03-5340-4507／FAX：03-5340-4612／E-mail： ecp-j@venus.joshibi.jp